

石岡瑛子

デザイン

石岡瑛子が
ここに
いる

2023年9月9日(土) - 11月12日(日)

休館日：月曜日(ただし、月曜日が祝日にあたる場合は開館し、翌火曜日が休館)

開館時間：9時30分～17時30分(入館は17時まで) ※10月7日(土)は20時まで開館(入館は19時30分まで)

一般1400円(1100円)、高大生900円(700円)、小中生700円(500円)

※()内は前売りおよび20名以上の団体料金。なお障害者手帳を提示の方とその同伴者1名(身体障害者手帳については等級が1～4級の場合に限る)は無料。北九州市在住の65歳以上の方は2割減免(公的機関発行の証明書等の提示が必要)。※前売り券は、公式オンラインチケット(北九州市立美術館HPより)、ローソンチケット、チケットぴあ、セブンチケット、e+イープラス、小倉井筒屋、北九州モノレール主要駅で販売。※展覧会開催中は当日料金での販売となります。

主催：石岡瑛子展実行委員会(北九州市立美術館、毎日新聞社) 後援：九州朝日放送、九州旅客鉄道株式会社、西日本鉄道株式会社、北九州モノレール、筑豊電気鉄道株式会社、株式会社スターフライヤー 特別協力：公益財団法人DNP文化振興財団、株式会社DNPアートコミュニケーションズ 企画協力：追村裕子(S2株式会社)

監修：Team EIKO(石岡裕子、河尻亨一、永井裕明(N.G. inc)) [北九州市立美術館 本館] 〒804-0024 北九州市戸畑区西朝ヶ谷町21-1 TEL.093-882-7777 <https://www.knmj.jp>
「New Music Media」音楽祭ポスター(1974)部分

あたらしく
北九州 60周年

北九州市立美術館 本館
Kitakyushu Municipal Museum of Art

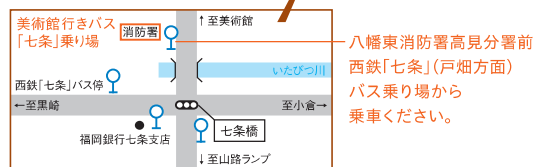
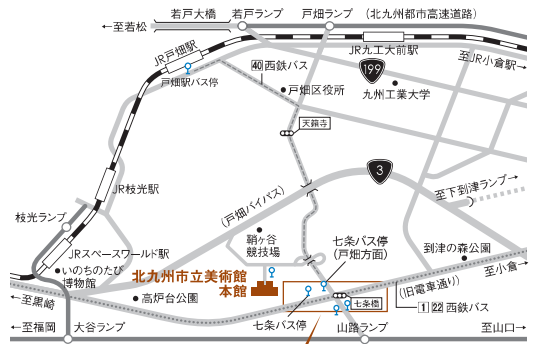
石岡瑛子 デザイン



5

交通のご案内 2020年3月よりシャトルバスを廃止し、直通バスを運行中

- 西鉄バス
 - ・「戸畑駅」、「小倉駅入口」(JR小倉駅からモノレールに沿って行き、小倉駅前交差点を渡って左、徒歩5分)から7M番乗車、「北九州市立美術館」で下車。
 - ・市内各地より「七条」で下車、「七条(戸畑方面)」(八幡東消防署高見分署前)から7M番(製鉄飛幡門行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車(所要6分)。
 - ・「西鉄天神高速バスターミナル」から高速バス・いとづ号(小倉方面行き)に乗車、「七条」で下車(所要1時間20分)。「七条(戸畑方面)」(八幡東消防署高見分署前)から7M番(製鉄飛幡門行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車。
- 車
 - 北九州市高速道路・山路ランプから車で8分
 - ・福岡・熊本・長崎方面から：九州自動車道「八幡1C」から北九州市高速道路へ。
 - ・山口方面から：九州(中国)自動車道「門司1C」から北九州市高速道路へ。
 - ・大分方面から：東九州自動車道から九州自動車道「小倉東1C」より北九州市高速道路へ。
- JR小倉駅より
 - ・「小倉駅入口」(JR小倉駅からモノレールに沿って行き、小倉駅前交差点を渡って左、徒歩5分)から西鉄バス7M番(鶴ヶ谷方面行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車(所要30分)。
- JR西小倉駅より
 - ・「西小倉駅前」から西鉄バス7M番(鶴ヶ谷方面行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車(所要25分)。
- JR戸畑駅より
 - ・「戸畑駅」から西鉄バス7M番(砂津行き)に乗車し、「北九州市立美術館」で下車(所要25分)。
- JRスペースワールド駅・JR枝光駅より
 - タクシー(所要10分)。
- JR黒崎駅より
 - ・「黒崎バスセンター」から西鉄バス特快1番、22番(砂津行き)に乗車、「七条」で下車(所要20分)。「七条(戸畑方面)」(八幡東消防署高見分署前)から西鉄バス7M番(製鉄飛幡門行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車。(所要6分)



八幡東消防署高見分署前
西鉄「七条」(戸畑方面)
バス乗り場から
乗車ください。

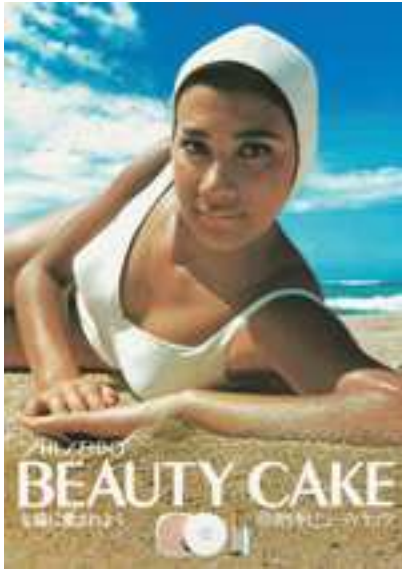
石岡瑛子は問いかける。 その仕事に「ー」はあるか？

没後10年をへて国内外から再び注目を集める石岡瑛子(1935年〜2020年)。広告、舞台、映画など表現のジャンルから国境までを超え、世界的に活躍したデザイナーです。

本展では瑛子が、東京を拠点にしていた1950年代の仕事を中心に、センセーションを巻き起こしたポスターやCM、アートワークからスケッチまで400点以上の作品を一挙公開します。

表現者にとって大切なのは「ほんとうの自分」を培うこと。つまり「私」を磨き抜くこと。瑛子はその信念を胸に、革新的ビジュアルを生み出す創造の旅を続けました。

写真や映像、イラストなど多様な分野のトップランナーたちとの協働作業を重ねながら、本展は石岡瑛子のクリエイションの核となる「ー私」に迫ります。いまなお熱を放つビジュアルと瑛子自身の言葉に、時代をも超越するデザイナーの生命力を体感してください。これは「回顧展」ではありません。石岡瑛子は、ここにいます。いまを生きたるあなたをインスパイアするために。



1



2



3



4

- 1 「太陽に愛されよう 資生堂ビューティケイク」資生堂ポスター (1966)
- 2 「地獄の黙示録」映画ポスター (1979)
- 3 Miles Davis 「TU TU」レコードジャケット (※聴講無料。詳細は当館HPをご覧ください)
- 4 「Power Now」展覧会のためのポスター (1968)
- 5 「西洋は東洋を着こなせるか」PARCOポスター (1979)

イベント

- ① スペシャルトーク
河尻亨一氏(編集者、銀河ライター)×永井裕明氏(アートディレクター)
日時：9月9日(土)14:00-15:00 会場：北九州市立美術館本館 アネックス3階レクチャールーム ※聴講無料。詳細は当館HPをご覧ください。
- ② 学芸員によるギャラリートーク
日時：9月23日(土・祝)、10月21日(土)、11月4日(土) 各日14:00～(30分程度) 会場：北九州市立美術館本館 企画展示室内 ※申込不要、本展観覧料が必要です。

- ③ イブニングコンサート
日時：10月7日(土)18:00-18:30 ★20:00まで夜間特別閉館
会場：北九州市立美術館本館 エントランスホール ※鑑賞無料。詳細は当館HPをご覧ください。

同時開催の展覧会 ※別途、観覧料が必要です。
●本館 コレクション展II 特集 Rc:1993
guest room 008 ナウィン・ラワンチャイクン
8月26日(土)～12月17日(日)
●分館(北九州市小倉北区室町1-1-1 リバーウォーク北九州5F)
没後50年 松野一夫展 9月16日(土)～11月12日(日)

北九州市立美術館 本館

Kitakyushu Municipal Museum of Art
〒804-0024 北九州市戸畑区西鶴ヶ谷21-1
TEL 093-882-7777 <https://www.kmma.jp>

